

## 2019年 9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社PKSHA Technology 上場取引所 東  
 コード番号 3993 URL <https://pkshatech.com/ja>  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)上野山 勝也  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 経営管理本部長 (氏名)中田 光哉 (TEL)03-6801-6718  
 定時株主総会開催予定日 2019年12月23日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2019年12月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期の連結業績 (2018年10月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	3,061	103.6	720	20.9	592	0.7	409	△32.9
2018年9月期	1,503	61.0	596	50.9	588	53.1	611	127.9
(注) 包括利益	2019年9月期 415百万円 (△32.0%)		2018年9月期 611百万円 (127.4%)					

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年9月期	15.00	14.05	2.5	3.2	23.5
2018年9月期	23.55	21.60	10.4	9.3	39.7

(参考) 持分法投資損益 2019年9月期 △35百万円 2018年9月期 —百万円  
 (注) 当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	30,421	26,652	87.6	875.79
2018年9月期	6,734	6,201	92.0	234.12

(参考) 自己資本 2019年9月期 26,650百万円 2018年9月期 6,198百万円  
 (注) 当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純資産を算定しております。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年9月期	431	△4,141	20,959	22,614
2018年9月期	388	△533	51	5,365

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00			

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	7,500	145.0	750	4.0	710	19.8	450	9.8	14.79

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
② ①以外の会計方針の変更： 無  
③ 会計上の見積りの変更： 無  
④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期	30,430,200株	2018年9月期	13,243,900株
② 期末自己株式数	2019年9月期	—株	2018年9月期	—株
③ 期中平均株式数	2019年9月期	27,337,717株	2018年9月期	12,980,200株

（参考） 個別業績の概要

1. 2019年9月期の個別業績（2018年10月1日～2019年9月30日）

（1）個別経営成績（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	1,585	43.1	187	△29.5	341	△4.7	276	△40.1
2018年9月期	1,108	25.8	266	△3.9	358	30.0	461	133.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期	10.11	9.48
2018年9月期	17.78	16.31

（注） 当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純資産及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	26,686	26,290	98.5	863.87
2018年9月期	6,365	5,980	93.9	225.80

（参考） 自己資本 2019年9月期 26,287百万円 2018年9月期 5,978百万円

（注） 当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について）

当社は、2019年11月14日（木）に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。

この説明会の資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、「未来のソフトウェアを形にする」をミッションに掲げ、主に自然言語処理、画像認識、機械学習/深層学習技術に関わるアルゴリズムソリューションを展開しております。

当連結会計年度における当社グループの属する人工知能(AI)技術領域では、アルゴリズムの活用による既存ソフトウェアの高度化、効率化を目指すニーズの高まりを受け、市場環境は良好な状況が続いております。こうした環境の中で、当連結会計年度において新規案件の獲得およびアルゴリズムライセンスの積み上げを推し進めるとともに、アルゴリズムソフトウェアの拡販に努めました。

また、当連結会計年度において、アルゴリズムのラインアップ拡張と研究開発の加速、特定領域におけるアルゴリズムソフトウェアの強化とバリューチェーンの垂直統合を目指す成長戦略を掲げ、その実現に向けた施策として、駐車場機器の製造販売・駐車場運営事業を通じIoT 機器を日本全国に配置しリアル空間のデータをクラウドに繋げる株式会社アイドラの全株式を取得いたしました。当第4四半期連結会計期間において株式会社アイドラの連結売上高が寄与し、当社グループ売上高が増加しております。

加えて、当社グループは上述の成長戦略の一環として中長期の成長を見据えた先行投資に充当すべく株式の発行による資金調達を行いました。引き続き優秀な人材の採用を積極的に進めるとともに、新たなビジネスモデルへの取り組みへの先行投資に注力しつつ、企業価値向上に取り組んでおります。なお、当第4四半期連結会計期間において、株式の発行およびアイドラ社買収に伴う費用を計上しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は3,061,469千円(前年度比103.6%増)となりました。営業利益は720,839千円(前年度比20.9%増)、経常利益は592,630千円(前年度比0.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は409,990千円(前年度比32.9%減)となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

なお、従来、当社のセグメント情報における報告セグメントは「アルゴリズムライセンス事業」の単一セグメントでありましたが、事業領域の拡大に伴い、新たな体制による経営管理を充実させる観点から当社グループの経営管理手法を見直しております。その結果、当連結会計年度より、報告セグメントを従来の「アルゴリズムライセンス事業」から、「Mobility & MaaS事業」、「Cloud Intelligence事業」の2区分に変更しております。

また、前連結会計年度のセグメント情報を当連結会計年度の報告セグメントの区分方法により作成した情報については、必要な財務情報を遡って作成することが実務上困難であるため、開示を行っておりません。

#### (Mobility & MaaS事業)

Mobility & MaaS事業につきましては、画像認識に関わるアルゴリズムを活用した新たなサービス・商品等の開発ニーズの拡大が続きました。このような環境の中、アルゴリズムソフトウェアの拡販を進めるとともに、株式会社アイドラの全株式の取得を通じ、IoT 端末による情報収集から顧客への製品・サービス提供までのバリューチェーンを垂直統合することでアルゴリズムが提供する付加価値を最大化すべく、新たな取り組みを開始いたしました。

この結果、売上高は1,152,830千円、セグメント利益は210,182千円となりました。

#### (Cloud Intelligence事業)

Cloud Intelligence事業につきましては、アルゴリズムの活用によるオペレーションのソフトウェア化を進めるニーズが堅調に拡大しております。このような環境の中、アルゴリズムライセンスの積み上げを図るとともに、自動応答エンジン「BEDORE」を中心としたアルゴリズムソフトウェアの拡販を進めました。

この結果、売上高は1,908,639千円、セグメント利益は681,489千円となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産の部)

当連結会計年度末における総資産は30,421,682千円となり、前連結会計年度末に比べ23,687,275千円増加いたしました。流動資産は24,389,472千円(前連結会計年度末比18,676,169千円増)となりました。主な増加要因は、現金及び預金が17,249,138千円増加したことによるものであります。また、固定資産は5,949,140千円(前連結会計年度末比4,943,987千円増)となりました。主な増加要因は、のれんが1,975,511千円、有形固定資産が1,347,813千円及び投資有価証券が997,562千円増加したことによるものであります。

#### (負債の部)

当連結会計年度末における負債は3,768,771千円となり、前連結会計年度末に比べ3,235,721千円増加いたしました。主な増加要因は、長期借入金が2,318,310千円増加したことによるものであります。

#### (純資産の部)

当連結会計年度末における純資産は26,652,911千円となり、前連結会計年度末に比べ20,451,554千円増加いたしました。主な増加要因は、資本金及び資本剰余金が株式の発行により20,036,351千円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は22,614,986千円となり、前連結会計年度末に比べ17,249,138千円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は431,549千円となりました。これは主に、売上債権の増加88,860千円、法人税等の支払額403,244千円を計上したものの、税金等調整前当期純利益624,757千円があったことによります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は4,141,725千円となりました。これは主に、子会社株式の取得による支出2,055,893千円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の増加は20,959,314千円となりました。これは、株式の発行による収入19,957,750千円によるものであります。

## (4) 今後の見通し

2020年9月期につきましては、良好な市場環境を背景に、アルゴリズムライセンスの積み上げおよびアルゴリズムソフトウェアの拡販を目指すと同時に、株式会社アイドラが通年で当社グループの連結業績に寄与することによる業績の拡大を見込んでおります。また、アルゴリズムのラインアップ拡張と研究開発の加速、特定領域におけるアルゴリズムソフトウェアの強化とバリューチェーンの垂直統合の取組みに係る先行投資に注力しつつ、事業拡大を図ってまいります。引き続き、当社グループは、アルゴリズムを軸に近未来のデジタル情報社会へ向けて価値を創造すべく、多種多様な企業・サービスとの連携や積極的な事業展開を通じて、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

2020年9月期の連結業績予想といたしましては、売上高7,500百万円(前年度比145.0%増)、営業利益750百万円(前年度比4.0%増)、経常利益710百万円(前年度比19.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益450百万円(前年度比9.8%増)を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,365,847	22,614,986
受取手形及び売掛金	255,238	887,003
原材料及び貯蔵品	—	422,621
その他	93,706	466,901
貸倒引当金	△1,490	△2,040
流動資産合計	5,713,302	24,389,472
固定資産		
有形固定資産		
土地	—	643,989
その他	69,894	773,718
有形固定資産合計	69,894	1,417,707
無形固定資産		
のれん	91,353	2,066,865
その他	182,071	594,916
無形固定資産合計	273,425	2,661,781
投資その他の資産		
投資有価証券	603,730	1,601,292
その他	58,102	268,357
投資その他の資産合計	661,832	1,869,650
固定資産合計	1,005,152	5,949,140
繰延資産	15,951	83,069
資産合計	6,734,406	30,421,682

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	41,634	331,915
未払法人税等	233,489	261,149
賞与引当金	13,984	52,470
製品保証引当金	—	31,966
その他	229,381	648,235
流動負債合計	518,489	1,325,736
固定負債		
長期借入金	14,560	2,332,870
その他	—	110,164
固定負債合計	14,560	2,443,034
負債合計	533,049	3,768,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,536,044	12,554,220
資本剰余金	2,535,044	12,553,220
利益剰余金	1,127,541	1,537,531
株主資本合計	6,198,629	26,644,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	5,567
その他の包括利益累計額合計	—	5,567
新株予約権	2,726	2,371
純資産合計	6,201,356	26,652,911
負債純資産合計	6,734,406	30,421,682

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,503,509	3,061,469
売上原価	578,019	1,431,499
売上総利益	925,489	1,629,970
販売費及び一般管理費	329,281	909,131
営業利益	596,208	720,839
営業外収益		
受取利息	1	4,975
保険解約返戻金	—	8,000
その他	532	3,109
営業外収益合計	534	16,085
営業外費用		
支払利息	—	5,424
株式交付費償却	8,500	11,128
支払手数料	—	76,403
持分法による投資損失	—	35,567
その他	—	15,770
営業外費用合計	8,500	144,294
経常利益	588,242	592,630
特別利益		
投資有価証券売却益	—	32,378
固定資産譲渡益	301,534	—
特別利益合計	301,534	32,378
特別損失		
投資有価証券評価損	10,328	—
固定資産除却損	—	251
特別損失合計	10,328	251
税金等調整前当期純利益	879,448	624,757
法人税、住民税及び事業税	277,387	256,254
法人税等調整額	△9,297	△41,487
法人税等合計	268,090	214,767
当期純利益	611,358	409,990
親会社株主に帰属する当期純利益	611,358	409,990



連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
当期純利益	611,358	409,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△312	5,567
その他の包括利益合計	△312	5,567
包括利益	611,046	415,557
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	611,046	415,557

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	2,510,336	2,509,336	516,182	5,535,855
当期変動額				
新株の発行	25,707	25,707		51,415
親会社株主に帰属する当期純利益			611,358	611,358
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	25,707	25,707	611,358	662,773
当期末残高	2,536,044	2,535,044	1,127,541	6,198,629

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	312	312	3,102	5,539,270
当期変動額				
新株の発行				51,415
親会社株主に帰属する当期純利益				611,358
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△312	△312	△375	△687
当期変動額合計	△312	△312	△375	662,086
当期末残高	—	—	2,726	6,201,356

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	2,536,044	2,535,044	1,127,541	6,198,629
当期変動額				
新株の発行	10,018,175	10,018,175		20,036,351
親会社株主に帰属する当期純利益			409,990	409,990
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	10,018,175	10,018,175	409,990	20,446,341
当期末残高	12,554,220	12,553,220	1,537,531	26,644,971

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	—	2,726	6,201,356
当期変動額				
新株の発行				20,036,351
親会社株主に帰属する当期純利益				409,990
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,567	5,567	△355	5,212
当期変動額合計	5,567	5,567	△355	20,451,554
当期末残高	5,567	5,567	2,371	26,652,911

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	879,448	624,757
減価償却費	54,400	141,640
のれん償却額	432	35,199
持分法による投資損益(△は益)	—	35,567
固定資産譲渡益	△301,534	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△32,378
投資有価証券評価損益(△は益)	10,328	—
売上債権の増減額(△は増加)	△105,181	△88,860
仕入債務の増減額(△は減少)	△889	61,518
前受金の増減額(△は減少)	49,574	△61,541
未払金の増減額(△は減少)	△20,617	12,645
その他	12,610	106,692
小計	578,571	835,243
利息の受取額	1	4,975
利息の支払額	—	△5,424
法人税等の支払額	△190,381	△403,244
営業活動によるキャッシュ・フロー	388,192	431,549
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△46,458	△833,598
無形固定資産の取得による支出	△102,421	△234,918
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△73,358	△2,055,893
投資有価証券の取得による支出	△277,592	△1,043,932
その他	△33,832	26,617
投資活動によるキャッシュ・フロー	△533,662	△4,141,725
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	2,500,000
長期借入金の返済による支出	—	△1,498,435
株式の発行による収入	51,040	19,957,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,040	20,959,314
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△94,430	17,249,138
現金及び現金同等物の期首残高	5,460,278	5,365,847
現金及び現金同等物の期末残高	5,365,847	22,614,986

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

### 1. 報告セグメントの概要

従来、当社のセグメント情報における報告セグメントは「アルゴリズムライセンス事業」の単一セグメントでありましたが、事業領域の拡大に伴い、新たな体制による経営管理を充実させる観点から当社グループの経営管理手法を見直しております。その結果、当連結会計年度より、報告セグメントを従来の「アルゴリズムライセンス事業」から、「Mobility & MaaS事業」、「Cloud Intelligence事業」の2区分に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報を当連結会計年度の報告セグメントの区分方法により作成した情報については、必要な財務情報を遡って作成することが実務上困難であるため、開示を行っておりません。

また、前連結会計年度のセグメント情報は単一セグメントであることから、前連結会計年度の区分方法により作成した連結会計年度のセグメント情報の記載は省略しております。

### 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法」と概ね同一であります。

### 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

当社グループは、「アルゴリズムライセンス事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	Mobility & MaaS	Cloud Intelligence	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,152,830	1,908,639	3,061,469	—	3,061,469
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,152,830	1,908,639	3,061,469	—	3,061,469
セグメント利益	210,182	681,489	891,671	△170,832	720,839
セグメント資産	4,313,159	1,745,942	6,059,101	24,362,580	30,421,682
その他の項目					
減価償却費	46,356	95,284	141,640	—	141,640
のれんの償却額	16,755	18,277	34,983	—	34,983
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	99,557	968,959	1,068,516	—	1,068,516

(注) 1. セグメント利益の調整額△170,832千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額24,362,580千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の現金及び預金等であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり純資産額	234.12円	875.79円
1株当たり当期純利益	23.55円	15.00円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	21.60円	14.05円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	611,358	409,990
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	611,358	409,990
普通株式の期中平均株式数(株)	25,960,400	27,337,717
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	2,345,748	1,837,405
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		—

(注) 当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益、潜在株式調整後1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。